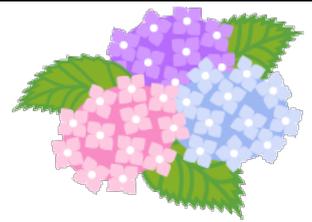




# あじさい



平成29年7月号

校長 松島俊夫

1学期も無事終わろうとしています。いろいろな行事がありましたが、子どもたちは真面目に取り組み、成果を上げることができました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

終業式には学びの姿を子どもたちに渡しますが、よくご覧になり、頑張ったところをほめてあげてください。学習面だけでなく、生活面や特別活動面なども所見をよくお読みいただき、2学期に向けて励ましていただければと思います。詳しくは、夏休みの個人面談で担任よりお聞きくださいますようお願いいたします。



## 合奏練習「アフリカン・シンフォニー」

9月8日(金)にコスモスホールで岩舟地区音楽発表会があります。本校は4・5・6年生全員が参加しますが、今年は高校野球の応援曲としても人気の高い「アフリカン・シンフォニー」という曲を演奏します。



アコーディオンやリコーダー、鍵盤ハーモニカをメインに、ティンパニーやコン

ガなど打楽器を加え、壮大な迫力ある演奏になっています。休み時間に自主練習をし、放課後は全体練習です。多くの職員が関わり、熱心に指導しています。子どもたちも暑さに負けず、頑張っています。励ましの言葉をお願いします。

## 放課後教室スタート



6月7日(水)から放課後教室がスタートしました。今年も1・2・3年生が対象で、国語・算数を中心にプリント学習をしています。昨年同様、小島ひろろさんと渡辺節子さんが熱心に指導してくださっています。

## 授業参観(防災)・親子奉仕作業

6月24日(土)の授業参観・親子奉仕作業へのご参加、ありがとうございました。授業参観では、今年度は全学年、防災教育の観点から「自分



の命を守る」をテーマに、地震発生時の身の守り方について学習しました。どの学年も資料をもとに、真剣に考えることができました。保護者の皆さんにも一緒に考えていただいた学年もありました。ご家庭でも、地震や竜巻、火災が発生した時にどのように避難するか話し合ってみてください。



親子奉仕作業では、花壇や植え込みの草取り、校舎内の窓ふき・トイレ掃除、男性の皆さんには校舎裏の側溝掃除、斜面の草刈りと、熱心に活動してくださり、誠にありがとうございました。お陰様で、気持ちよい環境の中で、子どもたちと共に教育活動を展開することができます。

## いじめゼロ実行委員会による児童集会



いじめのない学校にしよう、6年生が「いじめゼロ実行委員会」を立ち上げました。委員会では、6月12日(月)に全校児童に呼びかけようと集会を実施

しました。メンバーが仲間はずれの場面を寸劇に見せ、あじさいっ子班ごとに問題点を話し合ってもらいました。最後に、「いじめは絶対してはいけない」と訴え、集会を閉じました。

## 85歳宅訪問 5・6年

6月14日(水)に5・6年生が85才になられた方のお宅を訪問し、プレゼント贈呈と会話をさせていただきました。



今年は、85才になられた方が21名おられ、5・6年生が分担して電話連絡や準備をしてきました。当日は、会話の中で昔の学校の様子や暮らしぶりを伺うことができました。お年寄りをいたわる気持ちや尊敬する気持ちが高まったようです。

## 安純の里訪問 3・4年

6月29日(木)に3・4年生が安純の里を訪問し、施設見学と入所されている方とのふれ合い



活動をしてきました。ふれ合い活動では、歌やダンスを披露した後、会話と肩叩きをさせていただきました。入所されている皆さん

に大変喜んでいただくことができました。

子どもたちの感想をいくつか紹介します。

- ・肩もみとじゃんけんが楽しかったです。元気になってあげるつもりだったのに、ぼくが元気をもらいました。また行きたいです。
- ・みんな笑顔で楽しそうでした。うれしそうに話してくれるので、私もうれしくなりました。
- ・お話をしていると泣いて喜ぶ方もいて、ぼくもうれしくて泣きそうになりました。
- ・入所されている皆さんが泣いていたことが心に残りました。何回も練習して頑張って発表したことが伝わったのかなと思いました。

## アシストネット(学習支援ボランティア)



5年生の家庭科「玉結び・玉どめ」、6年生の「茶道教室」、休日ボランティアの「川遊び」等でご協力をいただきました。いろいろな体験ができました。

## 第2回学校運営協議会 6月21日(水)



2回目は、各クラスの授業の様子を見ていただき、本校の学力向上への取り組みについて協議していただきました。授業

の感想やご意見をいくつか紹介します。

- ・一人一人に自分の意見を述べさせていて、よかった。
- ・ワークスペースに新聞を展示する台があり、新聞に親しむのによい環境だ。
- ・子どもたちにきちんと説明させていた。聴き合うことでいろいろな考えに触れることができる。
- ・子どもたちの目が真剣で、自信をもって計算に取り組んでいた。分かる喜びを感じた。(6年・上の写真)
- ・納得するまで説明している場面があり、子ども一人一人が大切にされていると感じた。
- ・学力向上は学校頼みになりがち。親も真剣に取り組まないといけないと思う。

## 岩舟フロック小中一貫教育

学校日より5月号に「自らあいさつする子どもの育成」に力を入れていることを説明いたしましたが、本校では6月の最終週をあいさつ強調週間とし、「あいさつカード」を活用して指導の重点化を図りました。全児童が毎日自らのあいさつの様子を振り返り、カードに記入しました。意識が高まったのか、今まで挨拶の声が小さかった児童も大きくなってきました。なお、あいさつカードではく家の人からの言葉へのご記入、ありがとうございました。



新たに、**学力向上部会**から提案がありました。

- ①プロの教師として、ほめことば達人になる。
  - ②1日1回は授業中発表する。(児童)
  - ③子どもの家庭生活に関心を持ち、家庭学習の習慣が確立するよう子どもに促す。(保護者)
- ③については保護者の皆さんのご協力が必要です。お子さんがどんな家庭学習をしているか確認し、頑張りをほめていただきたいと思います。

## 読み聞かせボランティア



アリスの皆さんにお世話になっていますが、今年度は毎回お二人ずつ来校し、学年に応じた読み聞かせをしてくださっています。